

つながろう。驚きを。幸せを。



2026 年 10 月 2 日

NTT ドコモビジネス株式会社

NTT ドコモビジネス、竹中工務店と清水建設の日本国内の建築現場へ

建設業向けクラウド型工程アプリ「GaNett®」を展開

～建築現場における施工管理 DX 基盤の展開を推進～

NTT ドコモビジネス株式会社(旧 NTT コミュニケーションズ株式会社、以下 NTT ドコモビジネス)は、建設業向けクラウド型工程アプリ「GaNett®」を株式会社竹中工務店(以下 竹中工務店)と清水建設株式会社(以下 清水建設)の日本国内の建築現場へ本格展開(以下 本取り組み)しました。本取り組みは、2023 年 7 月に開始した施工管理業務の DX に向けた協業(以下 本協業^{※1})の取り組みの 1 つです。NTT ドコモビジネスは、「GaNett®」の展開を通じて、竹中工務店と清水建設における施工管理業務のデータ活用を推進し、現場業務の最適化から経営判断の高度化までを支援していきます。これにより、建設業界全体の生産性向上および持続可能な現場運営の実現に貢献します。

1. 背景

近年、建設業界では時間外労働の上限規制や就業人口の減少・高齢化といった課題に直面しており、DX による建設現場全体の生産性向上が求められています。

建設現場においては、図面管理分野では BIM^{※2} の活用が進む一方で、工程管理分野ではデジタル化やデータ連携が進んでおらず、施工管理業務全体の DX は十分に進展していませんでした。加えて、工程計画の業務は個人の経験やノウハウに依存度が高く、工程情報が現場ごとに分散管理されていたため、関係者間での迅速な情報連携やナレッジの蓄積や活用が課題でした。

こうした課題を解決するために、NTT ドコモビジネス、竹中工務店、清水建設の 3 社は 2023 年 7 月より、工程情報に着目した「施工管理業務の DX」の実現に向けた本協業を開始し、「GaNett®」の開発を進めました。

2. 本取り組みについて

建設業向けクラウド型工程アプリ「GaNett®」は、クラウド上で工程情報をリアルタイムに共有・更新することで、現場における関係者間の情報同期を実現し、最新の工事情報にもとづく円滑な現場運営を支援するものです。NTT ドコモビジネス、竹中工務店および清水建設の 3 社が連携して開発を推進し、竹中工務店および清水建設の建築現場に関する

知見を反映することで、「GaNett[®]」を実際の建築現場で活用可能なサービスとして開発しました。

本取り組みにより、竹中工務店および清水建設の建築現場において、施工情報をリアルタイムで同期・一元管理することで、多様なデータの活用による高度な工程管理と生産性向上を実現します。さらに、施工管理データの蓄積・活用を通じて、データドリブンな現場運営を推進します。「GaNett[®]」の詳細は別紙をご確認ください。

3. 本取り組みにおける導入効果

NTT ドコモビジネスは、本取り組みにより、建設現場における施工管理業務の高度化を図り、以下の効果の実現をめざします。

(1) 施工管理業務の最適化

現場ごとに分散していた工程情報を蓄積・一元管理するとともに、工事における作業区分・数量・施工エリア・協力会社などの属性情報をひも付けることで、工程情報の品質向上と標準化を促進し、組織横断で活用可能な共通基盤を実現します。また、施工管理に必要な情報の信頼性を向上させることにより、現場における迅速かつ的確な意思決定を支援します。

(2) バックオフィス連携強化

蓄積された施工管理データを活用し、現場とバックオフィス部門の連携強化や過去工事との比較分析、工程計画の高度化を実現します。さらに、過去工事との比較分析や工程計画の高度化を通じて、施工管理業務全体の生産性向上に貢献します。

(3) 経営判断・意思決定の高度化

将来的には、AI を活用した工程遅延リスクの予測や計画立案支援の実現をめざします。また、経営層から現場管理者までが共通のデータを活用できる環境を整備することで、データドリブンな現場運営および経営の実現に貢献します。



4. 今後の展望

NTT ドコモビジネスは、竹中工務店および清水建設の現場における標準の工程管理アプリとして「GaNett®」の利用拡大と機能・運用の高度化を進めていきます。また、現場で蓄積された施工管理データの活用を通じて、業務プロセスのさらなる効率化および施工管理の高度化を図っていきます。

さらに、NTT ドコモビジネスは、竹中工務店、清水建設の2社にとどまらず、本取り組みを通じて確立された施工管理DXの実装モデルを広く展開することで、建設業界全体の生産性向上および持続可能な現場運営の実現に貢献します。

「NTT コミュニケーションズ株式会社」は2025年7月1日に社名を「NTT ドコモビジネス株式会社」に変更しました。私たちは、企業と地域が持続的に成長できる自律・分散・協調型社会を支える「産業・地域 AX のプラットフォーマー」として、新たな価値を生み出し、豊かな社会の実現をめざします。

つながり。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

<https://www.ntt.com/about-us/strategy.html>

※1：本協業に関する詳細は以下をご確認ください。

ニュース 2023年7月11日:NTT Com、竹中工務店、清水建設、建築現場のDX実現に向けた協業を開始

※2：BIM(Building Information Modeling)とは、建物のライフサイクルにおけるデータを3Dモデルベースで構築管理する手法です。

別紙

クラウド型工程アプリ「GaNett[®]」の機能は以下のとおりです。



「GaNett[®]」で利用できる工程表の例

① 工程表を複数人で共有・同時編集

工程表の作成内容はリアルタイムにクラウド上へ保存されるため、常に最新の工程表が確認可能かつ関係者へタイムリーに共有できるほか、クラウドの特性を活かして複数人による同時編集も可能です。

② 工事における詳細情報を付与した工程管理

表に、工種、協力会社、施工量、施工場所、人工^{※1}などの情報を付与することで、属性情報を活用した工程管理が可能となり、過去案件との比較分析や類似工事の計画立案に活用できます。工程計画の精度向上やリスクの早期把握を実現し、継続的な業務改善を支援します。

③ 用途に合わせた表示形式を選択

工程のつながりを表示したいときはネットワーク形式やバー形式での工程作成、表形式で表示したいときはテーブル工程で表示するなど、工程表の用途・目的に応じて最適な表現方法を選択することができます。

④ 工程表のレイアウトカスタマイズ

会社や事業所ごとの帳票フォーマットに併せて、工程表のレイアウトを柔軟にカスタマイズできます。これにより、関係者にとって見やすく利用しやすい工程表を作成できるため、情報共有の円滑化と資料作成工数の削減に貢献します。

⑤ 他アプリとの連携により協力会社との作業手配を効率化

協力会社に対し、各種リソースをリアルタイムに手配・共有するアプリである「tateras[®]手配^{※2}」とデータ連携することで、工程計画に合わせた手配が可能となり、作業手配の抜け漏れを減らします。また、手配の情報を各協力会社と共有・管理することで、調整の手間を大きく低減します。

※1：人工(にんく)とは、作業に必要な人員と作業日数を掛け合わせて表す、作業量の単位です。例えば、1人が1日作業する場合を「1人工」と表します。

※2：tateras[®]手配とは、施工管理DXサービス「tateras[®]」の機能の一つで、建設現場の作業員や資材などの手配を一元管理し、調整業務の効率化を支援するサービスです。